

札幌社保協 FAXニュース

2008年 11月18日(火)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

札幌社保協結
成10周年記念レ
セプションは、09
年1月10日(土)で
す。ホテルノースシティ

高校生の進路講演会



青年労働者の実態と労働組合の役割 ローカルユニオン「結」が招かれ報告

11月4日、奈井江商業高校の3年生を対象にした「進路講演会」に、札幌ローカルユニオン「結」が招かれ、湊栄市副委員長・木村俊二書記長が講演しました。

木村書記長は今の青年労働者がダブルワーク、トリプルワークでやっと生活していることや、ワーキングプアが増大している現状を報告。こうした中、今まで泣き寝入りをしていた非正規労働者がたたかいに立ち上がっていることを、ノーステックテレコムやつぼ八の例で紹介。職場では一人の労働者の力は弱く、労働組合に加入してこそ労使対等が実現できること、労働組合への加入や団体交渉権、団体行動権が憲法で認められていると説明しました。

国民・労働者、中小零細企業の経営者の中には偏見もあり、「組合は会社をつぶす」という人もいるが、労組は労働者の雇用や労働条件を守るだけでなく、企業の社会的責任を守らせる役割があると強調。ミートホープの例も示して、企業に消費者の安心安全を守る社会的使命を遂行させるためにも、労働組合の役割はますます重要になっていると話しました。

木村書記長は「公立高校でこのような話をさせていただいて貴重な経験でした。教職員の中でも格差と貧困、ワーキングプアの問題が教え子を通し関心事となっているようです」と語っています。

「結」が第5回定期大会開催

「結」は11/16に第5回定期大会を開催し35人の組合員が参加しました。発足当時に比べ組合員が今大会では15倍以上になり、様々な職場で組合員が増えていることが報告されました。

また、賃金や労働条件の改善のたたかいかでも前進しており、「結」の活動と労働者の実態がマスコミでたくさん取り上げられています。

大会では原幸雄新委員長ら13人の執行部を選出しました。



「障がい者交通費助成削減」をやめさせるまでがんばろう

—来月13日に「連絡会」結成をめざす—



11月8日(土)大通での宣伝・署名行動

3回目の障がい者当事者の集まりが11/15に開かれ、交通費助成の削減案を1年先送りさせた成果に確信を持って、2010年の改悪実施に反対し運動をすすめよう確認しました。

市は09年の6月第2回定例会に、新たな提案を出すと言っています。しかし福祉パスの廃止を始めとした削減案では、障がい者の社会参加を奪うものに変わりはないと、参加者から批判の声が多く上がりました。

運動を進めていくため、多くの障害者団体などに呼びかけて、削減案に反対する「連絡会」を結成することになりました。

予定は12/13(土)13:30～ 視聴覚障がい者センターです。